foto ©Tenoha Bunka Academy
Corso di lingua giapponese
di
ciao!
Corsi individuali e di gruppo
Per maggiori info scrivi a:
ciao@ciaojournal.com

和食・麺処 サガミ
お席のご予約は各店にて随時承ります！
お問い合わせは下記各店まで
サガミ
SAGAMI
毎日営業中！
Milano Centrale店
☎ 02-2416-9051
Bologna店
☎ 051-506-5619
!!! NEW !!!
Milano Corte Lombarda店
☎ 02-9538-3055
Reggio Emilia店（月曜定休）
☎ 0522-744778
Modena店
☎ 059-397-0854
Parma店
☎ 0521-390313
Siena店
☎ 0577-553753
www.sagami.it

ciao!
JOURNAL
隔 月 刊 日 本 語 新 聞
2 0 2 2 年 5 - 6 月 号
No. 37
隔月刊日本語新聞 - PUBBLICAZIONE PERIODICA GRATUITA distribuita in Italia
ANNO 6 - NUMERO 3 - MAGGIO/GIUGNO 2022 | Edito da: Geienneffe Editore S.a.s.
Testata giornalistica iscritta al Tribunale di Milano n° 53 del 23/01/2017
粋（いき）という美意識
Il senso estetico giapponese
わくわくするイタリア新聞
Curiosare il Giappone
Articoli in italiano da pag. 6

CIAO! JOURNAL
http://www.ciaojournal.com/
ciao@ciaojournal.com
Ciao Journal イタリア新聞
ciao_journal
CiaoJournal
Ciao Journal

Ciao! Journal 広告掲載料金
Tariffe per pubblicità

広告一回掲載料金
Tariffe Pubblicità per una singola uscita modulo（mm59×59）
€140＋IVA（mm59×59）
€60＋IVA（mm59×26.5）

1ページ Prima pagina
タイトル上 sopra la testata €380＋IVA

2,3,16 ページ Pagina 2,3,16 €200＋IVA

上記の料金に広告原稿作成代は含みません。
I prezzi non contengono il costo per l'elaborazione del banner.

チャオジャーナル無料配布先募集
●イタリアの各地域への1回の送料：20ユーロ
●クーリエサービスにて送付：ご希望部数100部まで
●本誌p.2の無料配布先に御社名記載

詳細のお問い合わせ
Per maggiori informazioni scrivere a ciao@ciaojournal.com

CIAO! Journal 無料配布先（一部）
Dove trovare CIAO! Journal

Milano Consolato Generale del Giappone a Milano, JETRO, 日本人学校, Brera歯科, Sagami, Poporoya, Shiro, Ristorante Osaka, G81 Bento & mood, Yazawa, Gastronomia Yamamoto, Tenoha, Tenoha Ramen, Tanabata, Alimentari Gaghe, Tozai, Hair Salon Otto, Hazama, Endo Tomoyo-shi, Studio Ypslion, Università degli Studi di Milano (Facoltà di Mediazione Linguistica), Info Point Milano, JFC Italia, IperCoop Piazza Lodi店内 WARAI, Sagami Milano Corte Lombarda店
Roma Ambasciata del Giappone, Istituto Giapponese di Cultura, 日本人学校, Zensushi
Torino Takoyaki Minamoto
Bologna Ristorante Manyi-Sagami
Como Miciscirube
Modena Sagami
Parma Sagami
Reggio Emilia Sagami
Siena Sagami
Palermo Ho Bento
Tokyo Istituto Italiano di Cultura Tokyo, サルトリア・イプシロン
Kobe 神戸日伊協会

政界アラカルト

世界が変わった日

2月24日、ロシアがウクライナに対して攻撃を開始した。この2年コロナと景気の話題一色だった新聞やニュースは、この日から一変した。破壊された建物、瓦礫の間を縫って歩く人々、地下鉄の構内や防空壕に避難した人々、そして道に転がる死体。衣食住に恵まれ毎日を何となく過ごす我々にとっては、戦争はもはや遠い過去の歴史であった。だが今、ドキュメンタリー映画ではない実際の戦争の映像を毎日目にしている。

ロシアとウクライナの関係

ウクライナは1922年からソビエト連邦に属していたが、1989年ベルリンの壁崩壊とそれに続くソビエト連邦の崩壊（1991）によって独立国となった。同年ロシア、ベラルーシと共に独立国家共同体（CIS）の設立に調印したものの、依然ロシアとは主従関係にあり、ウクライナ領クリミア半島にある黒海のセバストポリ港はロシア黒海艦隊の駐留地となっていた。

2004年ウクライナの大統領選挙で親ロシア派のヤヌコーヴィチが敗北し、西寄りのユシチェンコが勝利して以降、ウクライナはNATOとの協力関係を強化。だが2010年の選挙でヤヌコーヴィチが再選され、西欧派のティモシェンコ対立候補は投獄されてしまう。ヤヌコーヴィチ政権は「ウクライナの西欧化を懸念するロシアの傀儡」とする見方もあり、同政権がEUとの自由貿易交渉への調印を拒否すると国内の欧州支持派による抗議運動が激化した。結果、2014年2月ヤヌコーヴィチはロシアへの逃亡を余儀なくされる。これはマイダン革命（=尊厳の革命）と呼ばれ、このとき資金援助をしたと言われるポロシェンコがその後の大統領になった。

プーチンはこれを「反体制派のクーデター」と見なし、正当な政権とは認めなかった。そして、西側勢力の更なる拡大を恐れて武力でクリミア半島を併合し、ドンバス地方の反ウクライナ勢力の強化に取り組んだ。2015年の「ミンスクの合意」によって親ロ派武装勢力とウクライナ軍による闘争の鎮静化が試みられたものの、合意後も断続的に摩擦が続いていた。

ゼレンスキー大統領

2019年、ヴォロディミル・ゼレンスキーが大統領に選出された。同氏は元TV俳優で、2015年から「国民の僕（しもべ）」と題する連続ドラマの主人公を演じて人気を博した。一介の高校教師が大統領になり、貧困者を助け財政の健全化に奔走するというストーリーであったが、ゼレンスキ

Working trip of the President of Ukraine, Volodymyr Oleksandrovych Zelenskyy to the Kyiv region.（4 April 2022）
©PRESIDENT OF UKRAINE VOLODYMYR

ーは2018年、なんとドラマのものと同名の党を設立し、翌年大統領選挙に出馬。2019年4月21日、現職のポロシェンコ大統領を大差（得票73%）で破って本当に大統領の座に就いてしまったのである。ゼレンスキー大統領は2021年4月、ロシアがウクライナとの国境に大量の武力を配備したことを懸念し、バイデン米国大統領との電話会談でNATO加盟の可能性を探った。

The inauguration of President Vladimir Putin. (7 May 2000)
©Presidential Press and Information Office/Creative Commons

プーチン大統領

2000年、エリツィン大統領の後継者として、過半数の得票で大統領に就任したプーチンは、ソビエト連邦崩壊後に力を強めていた地方政府を収拾する目的で、直ちに中央集権化を目指した。「彼の就任後ロシア経済は8年連続で成長し、GDPは72%増、賃金は3倍に増加、失業と貧困は半減した」（出典：Wikipedia）そうだ。主要輸出品である天然ガスや原油の価格高騰が主な原因とされているが、彼の執政期間に経済危機を克服して生活水準の向上を見た国民は、その功績を高く評価しているという。

8年間大統領を務めた後、憲法によってそれ以上の継続が制限されていることから、側近のメドベージェフ氏にその座を譲り、自分は4年間首相に転職。その後、大統領の任期を6年に延長して2012年に第3期目、2018年から第4期目の大統領として今に至っている。通年18年間大統領をしている計算だ。ロシアの大統領選挙は国民による直接選挙のため、「プーチンは人気が高い」との見方もある。だが一方、選挙が全てフェイクだと暴露するビデオもあるし（例えば、投票開始前から投票箱が用紙で埋まっていた）、彼の賄賂の事実を暴露するドキュメンタリーも存在する（サンクトペテルブルク副市長時代から、多額の賄賂と引き換えに様々な業者に営業許可を与えており、そうしたところから得た財産は7000億ドルに上る）。20年以上経っても同じ人物が国民の同意の元に（それも過半数を大幅超え）権力の座に居続ける「民主主義」など、存在し得るだろうか？

ウクライナ侵攻

プーチン大統領はウクライナ攻撃の僅か3日前の2022年2月21日、ウクライナに属する親ロシア派ドンバスとルガンスクを独立共和国として一方的に承認した。そして前夜（2月23日）、「“二国”の平和を守るために特別作戦を実施する」と宣言し、ドンバスとルガンスクに軍隊を配備するよう防衛省に要請したのである。プーチンはロシア国民に「ロシアはウクライナの生みの親だ」と、ウクライナはあくまでもロシアの属国であると説明していた。そのウクライナが、上述のようにゼレンスキー政権成立と共にNATO加盟への明確な意思を見せたことが、今回の侵攻の引き金になったと見られている。

侵攻開始から2ヵ月を経た現在、ロシア軍の標的はウクライナの南東に位置するドンバスとルガンスク地方から、マリウポリ、ザポリージャ、ドニプロ、オデッサ、そしてキエフなどの中部へと移動している。そして、住居やショッピングセンターや劇場といった、軍事に関係のない施設や、小児病院までもがミサイルによって破壊された。キエフ近郊のブチャでは身体の一部を切断された市民の死体が数百体放置されていたという。拷問の後で射殺された人々が投げ込まれた集団墓地（穴）なども発見されており、そのやり方は残虐極まりない。

4月14日の時点でウクライナからイタリアに入国した避難民は9万2000人、欧州全域では250万人。そして、家を失っても国外に避難できないでいる人が250万人にも上ると「Messagero紙」は伝えている。

（p.4につづく）

目次 Indice

p.2 政界アラカルト
- 世界が変わった日
p.4 かけあしイタリアのニュース
p.6 印象派と浮世絵
- 日本の美術が西洋美術に影響を与えた話
p.6 Il rapporto tra impressionismo e *ukiyo-e*
- L'influenza giapponese sull'arte occidentale
p.9 粋（いき）って何だろう？
p.9 Che cos'è l'*iki*, la raffinatezza giapponese?
p.10 着物を着るならシャキッとね！
p.10 Quando indossate il kimono abbiate un portamento elegante e raffinato!
p.12 だしの話 - うま味
p.12 Il *dashi* - Umami
p.13 ロシアが攻撃開始して48日目の夜
P.14 「漫画」という言葉と、日本漫画の土台
p.14 La parola "manga" e le fondamenta del fumetto giapponese!
p.15 Ciao!Journal in piazza
- 掲示板／annunci

Ciao! Journal Pubblicazione Periodica

Registrazione
Tribunale di Milano n°53 del 23/01/2017
Direttore Editoriale Junko Kataoka
Direttore Responsabile Eugenio Bersani
Editing e pubblicità Geienneffe Editore S.a.s.
C.F. e Partita IVA: 09698530962
C.C.I.A.A. di Milano REA n°: MI-2108642
Mail: ciao@ciaojournal.com
Web: www.ciaojournal.com

Redazione: Junko Kataoka, Natsu Funabashi, Isato Prugger
Progetto grafico: Gabriel Suzuki Studio
Revisione in italiano: Fulvio Cattaneo
Traduzione in italiano: Camilla Troisi, Emanuela L. Arancio, Rachele Perrone
Hanno collaborato a questo numero: Tetsuro Shimizu, Kazuhiko Hori, Natsumi Kan, Toshiyasu Hiramatsu, Kyoko Higuma, Masao Yamanashi, Itaru Ito
Foto in copertina: Linus Hori
Tipografia: Gruppo Stampa GB s.r.l.
Viale Edison, 627 - 20099 Sesto san Giovanni (MI)
Finito di stampare nel mese di maggio 2022

Riproduzione riservata ©Geienneffe Editore S.a.s.

かけあし
イタリアのニュース

2022年2月

●16日、NATOのストルテンベルグ事務総長「ウクライナ国境に配備されたロシア軍、撤収の兆し無し」。●18日、EU議会を訪れたウガンダの外相がフォンデアライエンEU委員長を無視。●19日、インターネット調査のAudiWeb「18～74才のイタリア人の80%が1日平均2時間16分携帯でネット」。●20日、在モスクワ米国大使館が同国民に避難勧告。ウクライナのドンバス州から5万3000人がロシアに避難。ウクライナ防衛相「ロシアがウクライナに侵攻するとの情報は今のところ入手していない」。●21日、プーチン大統領が親ロ派2州ルガンスク及びドネツクを独立国家として一方的に承認し、兵力配備。観光業者連盟「宿泊・飲食で廃業に追いやられたのは2021年に4116軒」。コリエーレ紙「当選後に所属政党を変更した議員が1月に302人もいた」。●22日、ロシアの天然ガスをドイツに運ぶパイプライン「ノルド・ストリーム2」の運転をロシア制裁に伴い停止。米国のワクチン「ノヴァヴァックス」を伊に導入。ISTAT「1月のインフレ上昇率は26年ぶりに最高値4.6%。電気料金は前年度比103%増」。●23日、ウクライナ支援の目的で欧州に配備された米国軍隊9万人。NATO軍4万のうち伊兵238人がリトアニア国境に。戦闘爆撃機2000機がルーマニアに。●24日、ロシアがウクライナを攻撃。チェルノブイリ原発がロシア軍の手に陥落。首都キエフに射たれたミサイル200、犠牲者130人。●26日、ウクライナ政府が18～60歳の国民に武器を持って戦うよう指示。●28日、ベルリンで50万人反戦デモ。ロシア人指揮者ゲルギエフ氏がスカラ座降板。

3月

●1日、ウクライナ-ロシア間交渉でロシアがウクライナの中立を要求。ゼレンスキー大統領はウクライナの即EU加盟主張。国際サッカー連盟がロシアをW杯から除外。●4日、2度目の交渉でロシアがウクライナ人避難のための人道回廊を受け入れる。欧州最大のザポリージャ原子力発電所をロシアが制圧。●5日、ロシアが国内でFbとTwitter停止。ファッションブランドや外国の放送局も国外に退去。ウクライナからイタリアに入国した避難民1万人。●6日、マリウポリがロシアの攻撃を受け、人道回廊遮断。●7日、ロシア56都市で反戦デモ、逮捕者4500人。●8日、プーチン大統領がイタリアを「非友好的な国」に認定。欧州でロシアへのガス依存脱却を目指す動き。●9日、ジュネーヴのCERN（欧州原子核研究機構）が、ロシアのオブザーバーとしてのステータス剥奪。サルヴィーニ氏がポーランド訪問。だが現地の市長「プーチンの友達は不要」。●10日、マリウポリで小児科病院爆撃。トルコで行われた停戦交渉は進展なし。●14日、イルピンで取材中の米国記者がロシア軍に撃たれて死亡。●15日、イタリア国会議員30人のウクライナ訪問計画を外務省が阻止。欧州全域でコロナ感染者再び増加。ISTAT「2021年のイタリアの出生数が160年ぶりに40万人を下回る」。●16日、スロベニア、ポーランド、チェコの首相がキエフ訪問。ゼレンスキー大統領はNATO加盟断念。●17日、3000人が避難していたマリウポリの劇場が爆撃を受けて壊滅、死者300人。ゼレンスキー大統領が米国議会でリモート演説。●19日、停戦を目指す米中首脳会談は進展なし。20万の聴衆を集めてモスクワのスタジアムで開催した集会に、プーチン大統領がイタリア製の1万2000ユーロのダウンジャケットで登場。ウクライナからバスで39時間かけてローマに到着した女性が疲労で死亡。●20日、ロシア人宇宙飛行士3名がウクライナ国旗の宇宙

政界アラカルト

（p.3からつづく）

各国の動き

EUはウクライナ侵攻が始まるや、ロシアへの経済制裁に乗り出し、イタリアはEU加盟国としてこれに従った。具体的には、ロシアの欧州金融市場への参入禁止、プーチン大統領やラブロフ外相ほか、超富裕層が欧州に所有する財産の凍結。更に、国際銀行送金システムSWIFTからロシアを除外する案が部分的に採用された。ロシアの主要輸出品である天然ガスの輸入規制も挙げられたが、ガスを100%ロシアに依存している国（北マケドニア、ボスニア、モルダビアなどの東欧諸国とフィンランド）や、50%近く依存している国（ドイツとイタリア）が存在するため、一概に「ガス要りません」と突っぱねられないのが現状だ。ドラギ首相は対策として4月11日、アルジェリアからの天然ガスの供給拡大の合意を取り付けた。他にも、アンゴラ、コンゴ、モザンビークなどのアフリカ諸国との話し合いのため、訪問を決めた（何とも素早い動きに感心する。心からお礼を申し上げたい）。

ソビエト連邦崩壊後、西欧諸国は様々な可能性を秘めた広大なロシア市場に投資してきた。イタリアも例外ではなく、鉄鋼、ガス、石油、化学、輸送、農業、金融といった分野で500近い企業が参入し、貿易総額は200億ユーロにも上る。対ロ経済制裁のしっぺ返しでこれらの“富”が打撃を受けるのは時間の問題だ。現在既に、全体の50%以上をウクライナからの輸入に頼っているトウモロコシの価格は昨年度比47%アップ、ウクライナの小麦にも頼っているためパスタ15%アップ。ひまわり油80%、ガソリン50%増と異常な速度で上昇している。

今、コロナに2年間苦しんでいる人類に最後のとどめを刺すが如く浮上してきたのが、核の脅威だ。ロシアは侵攻開始日の2月24日にチェルノブイリ原発を、3月4日には欧州最大のザポリージャ原発を攻撃し掌握した。このニュースは欧州を震撼させ、フランスやイタリアでは被爆に有効とされるヨウ素を求めて市民が薬局に殺到したらしい。

冒頭で「ロシアが」と話し始めたが、ロシア国内においても侵攻開始と同時に数万人規模のデモが起こっている。プーチン反対派リーダーのナワルニー氏（現

服で国際宇宙ステーションに到着。ベルルスコーニ氏が32歳のマルタ・ファシナ下院議員と結婚。●22日、キエフのショッピングセンターがミサイル攻撃を受けて破壊。ロシアが黒海に面したオデッサへの攻撃開始。●23日、ゼレンスキー大統領がイタリア国会で「ウクライナは玄関。ロシアの真の目的はヨーロッパだ」とビデオ演説するも議員350名欠席。●24日、ブリュッセルでバイデン大統領を交えたNATO31カ国首脳会議。米国がロシアに代わるガス供給をオファー。●25日、カタールW杯参加をかけた対マケドニア戦で0-1で敗れ、イタリアは2回連続W杯出場逃す。

4月

●1日、プーチン大統領「ロシアからのガスをルーブルで支払わない国には供給を停止する」。EU首脳のロシアへの入国禁止。●2日、今月から規制緩和されたが、1日のコロナ感染者7万4000人で増加傾向。●3日、キエフ近郊のブチャで両手を後ろで繋がれて射殺された市民の死体1280体が見つかる。コリエーレ紙「イタリアの天然ガス輸入の38%がロシアから」。2020年開通のTAP（アドリア海横断パイプライン）の供給量は僅か7.2%。●4日、ENI代表取締役デスカルツィ氏がガス輸入量増加のためアルジェリアへ交渉に。ハンガリー首相にロシア寄りのオルバン氏再選。●6日、イタリアがロシア人外交官30人追放。●9日、フォンデアライエンEU委員長が破壊されたブチャ視察、大統領と会見。●10日、仏大統領選。マクロン大統領と極右ルペン党首の接戦。●11日、ドラギ首相、メタンガス90億立方メートル輸入合意のためアルジェリアへ。●12日、コリエーレ紙「ウクライナ避難民のうち62万人が祖国に帰国」。●13日、マリウポリがロシア軍に掌握される。推定死者数は同市だけで2万2000人。ロシア軍の化学兵器使用疑惑。●14日、フィンランドとスウェーデンがNATOに接近。シュタインマイヤー独大統領がキエフ訪問断念。過去にロシア寄りだった同氏の訪問をゼレンスキーが望まなかったため。更にエジプト、アンゴラ、コンゴとガス輸入についての合意急ぐ。●15日、黒海艦隊旗艦の巡洋艦モスクワがウクライナ軍に撃沈される。

Natsumi Kan

在モスクワで投獄中）は3月2日、「正気を失った小さな皇帝の前で臆病になることはない」と、ロシア国民に堂々と反対するよう呼びかけた。ロシアの人権保護団体は、現時点で7000人以上の市民が逮捕されている旨、伝えている。そしてモスクワでは、ウクライナ大使館の前に花束を置いた子供5人とその母親2人が逮捕された。

たとえ東欧の歴史が複雑であっても、それをどんなに探ってみたところで、この侵攻を正当化できる理由を見出すことなどできない。無防備な人々に襲いかかり、住居を奪い、殺戮を行う狂気であると言う以外に。

Masao Yamanashi

イタリアに少しでも興味をお持ちの方は、お気軽にご入会ください

神戸日伊協会

ASSOCIAZIONE ITALO-GIAPPONESE DI KOBE

日伊両国間の、民間レベルでの相互理解、友好親善を深め、あわせて会員間の親睦をはかります。

■神戸日伊協会・年会費

個人会員お一人	5,000円
＊ペア会員	8,000円
法人会員一口	30,000円<いずれも税込み>

＊ペア会員＝ご夫婦、親子など、会報等の送付先、その他連絡先が同一の方

〒651-0096 神戸市中央区雲井通7−1−1 「ミント神戸」17階 神戸新聞文化センター（KCC内）

神戸日伊協会

TEL. 078 (265) 1100 FAX. 078 (265) 1105

GAGHE
korean & japanese food shop

가게
korean & japanese food shop

korean & japanese food shop

Via Piacenza, 24 - 20135 Milano
Tel 02 84076284
M3 Porta Romana

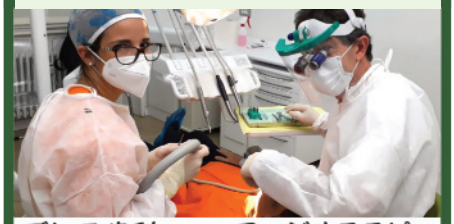
COUPON 10% SCONTO CON "CIAO JOURNAL"

歯のホワイトニング治療

「笑顔は、女性が身につけることのできる最も美しいアクセサリーだと思うわ」。これはオードリー・ヘプバーンが言った言葉です。女性だけでなく男性の笑顔も美しいもの。自分が笑顔であること、そして誰かの笑顔を受け取ることによって、人生はもっと素敵なものになるのだと思います。

白い歯って笑顔を明るくしてくれるだけでなく、自信をもって周りの人に見せることができますよね。とはいえ私たちの歯は黄色くなりがちです。人生の歳を重ねるにつれ、酸性・着色の飲食物を口にするにつれ、喫煙するにつれ、あるいは歯磨きなどによってさえエナメル質が損耗し、歯の光沢と白さの喪失の原因になるのです。

今は、白の色合いのちょっとした工夫で歯を明るくする、専門のホワイトニング技術があります。エナメル質に損傷を与えずにホワイトニングすることが重要なのですが、Brera歯科は最も信頼できる技術を取り入れています。日を置いて3回治療のあと、医師の指導のもとにご家庭でもコンスタントにケアしていただきます。ハイレベルな技術と徹底指導をもってホワイトニング治療いたしますので、どうぞ安心してお任せください。



ブレラ歯科
一般歯科
小児歯科
矯正歯科

フィジオテラピー
偏頭痛 肩こり 腰痛
リンパマッサージ

BRERA STUDIO MEDICO
Via Fatebenefratelli, 4 Milano
(地下鉄 Lanza - Turati 近く)
日本語専用ダイアル340-2497054

芸術劇場

Tetsuro Shimizu, docente dell'Accademia delle Belle Arti di Brera

「清水画伯が語る」シリーズ
第1弾 印象派と浮世絵

日本の美術が西洋美術に影響を与えた話

異端児だった印象派の画家

浮世絵の影響を受けた画家として代表的なのはマネ、ドガ、モネ、ゴッホ、ゴーギャンさらにロートレック、ボナールなどです。彼らは、印象派が認められていない時代に異端児的扱いを受けていた存在で、時代の変わり目にいました。

印象派が出だした19世紀半ば、サロン・ド・パリ（フランスの芸術アカデミーの公式美術展）で彼らの絵は受け入れられていませんでした。そもそも「印象派」という呼び名も、モネの作品『印象・日の出』を見た評論家が酷評して「印象主義」と呼んだことに由来するのです。

Édouard Manet, "Colazione sull'erba" (1863) Museo d'Orsay, Parigi

若い作家たちは、伝統が支配するパリに窮屈さを感じていました。古典的な知識と素晴らしい画力をもって歴史的な絵を描いていたマネがまず先陣を切って、従来の規範に従わない『草上の昼食』を、1863年の「落選展」（サロンに落選した作品のみを集めた展覧会）にて発表します。ということから、マネが印象派の先駆者と言えるのです。「発注者がいて、その人のために歴史的な（実際には作家が知らない人や時代の）絵を描く」という“常識”を覆し、「作家自身が動機をもって作品を作る。作家が外に出て光の中で、今までの視点とは違った自分の構想で絵を描く」ということを始めたのでした。

浮世絵とは

浮世絵は江戸時代（1603-1868）の初期に成立した絵のジャンルです。中でも木版画作品がよく知られています。版画ですから、オリジナルを描く絵師と、それを木版に彫る彫り師と、色を重ねて摺りあげる摺り師に担当が分かれていました。工房での共同作業だったんでしょうね。肉筆のものをわざわざ版画にしたのは、本やパンフレットにするのが目的だったからです。たとえば広重の『名所江戸百景』や北斎の『富嶽三十六景』などは今でいう旅行ガイドだし、写楽のは歌舞伎役者の宣伝パンフレットだったわけです。手作業で一つ一つ摺っていくわけですから、全く同じものにはなりませんが、多く出回ったおかげで浮世絵は有名になったのだと思います。私はイタリアに来てから、同じ作品でも摺り上がりの違うものをかなり見ました。

Vol 1 L'arte raccontata dal pittore Shimizu

Il rapporto tra impressionismo e *ukiyo-e*

L'influenza giapponese sull'arte occidentale

Gli artisti impressionisti anticonformisti

Furono molti gli esponenti di questa corrente artistica a ispirarsi agli *ukiyo-e*: da Édouard Manet, Edgar Degas, Claude Monet fino a Vincent Van Gogh, Paul Gauguin, Henri de Toulouse Lautrec e Pierre Bonnard. Pittori che vissero in un periodo spartiacque e che mai furono effettivamente accettati dalla società, finendo per vivere una vita anticonformista e fuori dagli schemi. Nella seconda metà del XIX secolo nessun quadro impressionista aveva alcuna possibilità di essere esposto all'interno del Salon istituito a Parigi (esposizione di pittura e scultura dell'Accademia di Belle Arti francese). Il nome “Impressionismo”, infatti, deriva proprio dal commento che il critico Louis Leroy fece al dipinto di Monet “Impressione, levar del sole”, definendolo, per l'appunto, una sbiadita “impressione”. Si può quindi immaginare il motivo per cui a questi giovani artisti andasse fin troppo stretta la rigida Parigi, legata a doppio filo con la tradizione.

Ci fu poi Manet, artista inizialmente dedito alla raffigurazione di scenari storici, che, unendo le sue conoscenze dell'arte accademica a strabilianti abilità pittoriche, nel 1863 espose al Salon des Refusés (esposizione che accoglieva le opere rifiutate dal Salon “ufficiale”) “Colazione sull'erba”, opera che lo fece distaccare totalmente da quello che all'epoca veniva considerato il modello di riferimento a cui aderire. È proprio per questo motivo che ad oggi Manet viene considerato uno dei pionieri del movimento impressionista. Non si raffiguravano più scene storiche e personaggi di epoche lontane per far gola agli acquirenti, ma si prendeva in mano il pennello per il puro gusto di farlo. Si dipingeva *en plein air* e secondo i propri schemi e modelli, senza badare alle critiche e allo sdegno della società dell'epoca.

Gli *ukiyo-e*

L'*ukiyo-e* (浮世絵, ovvero “immagini del mondo fluttuante”, n.d.t.) è uno stile artistico nato in Giappone all'inizio del periodo Edo (1603-1868), di cui sono particolarmente note le stampe xilografiche. Proprio in quanto stampe, gli *ukiyo-e* non possono essere considerati creazioni di un solo artista, ma di un vero e proprio gruppo: c'era chi si occupava di dipingere l'opera originale, chi di inciderla su blocchi di legno e chi, infine, inchiostrava la matrice e imprimeva i disegni su carta. Queste venivano poi appositamente stampate per essere diffuse sotto forma di opuscoli e libretti. Alcuni esempi sono le raccolte “Cento vedute famose di Edo” di Hiroshige e “Trentasei vedute del Monte Fuji” di Hokusai, che oggi sono considerate delle vere e proprie guide per i viaggiatori più curiosi. Per non parlare poi delle stampe di Sharaku, che venivano pubblicate su opuscoli con lo scopo di fare pubblicità agli attori di teatro Kabuki dell'epoca. Grazie alla loro vasta circolazione sul mercato, gli *ukiyo-e* divennero presto opere celebri e inconfondibili; venendo però prodotte a mano a una a una, non erano mai una l'esatta copia dell'altra. Un piccolo aneddoto: dopo essere venuto a

浮世絵に驚嘆した西洋の芸術家たち

浮世絵はもともとは、ヨーロッパに輸出する陶磁器を包んでいた紙として西洋に伝わりました。しかし芸術家たちは陶磁器ではなく絵の方に注目したのです。彼らは、浮世絵には西洋の「ものの見方」とは明らかな違いがあり、浮世絵からうかがえる日本人の「ものの見方」が自分たちとは違うことに気づきます。西洋では、「自然を客体として観察し、表現する」という考えです。空間設定をしてボリュームをつけ、そこに光を与えて、舞台を作るみたいに描いていく。消失点（中心点）を持つ「一点透視図法」に基づいた合理的な空間の捉え方をします。

それに対して日本の浮世絵は非常に平面的で、ボリュームがついていない。だがそういった表現によって、物のもつ形よりも「色」が際立って見えてくる。西洋の芸術家はそこにまず目をつけました。次に、消失点が無いということ。そして、中心が無いのにバランスがとれている。西洋の絵では中心に神がいて、大体がシンメトリックですよね。教会の造り自体もそうです。でも日本の絵はなぜこんな風にアンバランスなのにバランスを作ることができているのかと。

ゴッホは歌川広重の『亀戸梅屋舗』や『大はしあたけの夕立』を模写しています。『大はしあたけの夕立』には水平・垂直なものが一つもありません。斜めだけの構成によってバランスと奥行きが出ている。一方のゴッホの模写の橋げたなど、やはりボリュームが出てきていて形が際立っています。広重のは陰影がない分、色が際立っていますよね。

更にもうひとつ。浮世絵では描いている作者のいる場所が絵の中に入ってしまっている。つまり視点が風景の中に共にあるんです。自分と自然との間に距離をおいて描くヨーロッパの芸術家にとっては、これはかなり不思議なことでした。何でそんな風にものが見えるのかと。

歌川広重の『名所江戸百景』より「はねたのわたし弁天の社」Foto 4: Utagawa Hiroshige, "Il santuario di Benten e il traghetto di Haneda", parte della serie "Cento vedute famose di Edo" del 1858.

「自然の一部」という考え

浮世絵では、雨が降る中を走っていく人々など、人間の日常生活の様子が風景に溶け込んで、ごく普通のこととして表されています。聖母マリアやキリストやモデルを周りから切り取って中心に置いて描くのではない。浮世絵に描かれる人々は「自然の一部」であるだけです。

北斎の36ヶ所から見た富士山のシリーズ『富嶽三十六景』は、西洋人には驚きだったみたいです。富士山というのは日本人にとっては神的なものだと西洋人も知っている。その唯一絶対的な存在のはず

（左）歌川広重の『名所江戸百景』より「大はしあたけの夕立」／ Sinistra: "Acquazzone improvviso sul ponte Shin-Ohashi e Atake", parte della serie "Cento vedute famose di Edo" del 1857
（右）ゴッホによる模写。『日本趣味：雨の大橋（大はしあたけの夕立）』／ Destra: Vincent Willem van Gogh, "Giapponeseria: il ponte sotto la pioggia (da Hiroshige)", 1887, Van Gogh Museum, Amsterdam

vivere in Italia, ho avuto modo di osservare varie stampe esposte ed erano tutte differenti tra loro.

Come gli *ukiyo-e* incantarono gli artisti occidentali

Inizialmente, gli *ukiyo-e* giunsero in Europa come carta da pacchi per conservare le ceramiche importate da Oriente. Tuttavia gli artisti, invece che ammirare le raffinate porcellane, erano più interessati alle stampe che le contenevano. Ciò che traspare osservando queste opere, e che gli impressionisti non riuscirono a fare a meno di notare, è il netto distacco tra il punto di vista occidentale e quello giapponese, lontanissimo dallo stile in voga in Europa all'epoca. L'arte occidentale osserva il paesaggio con occhio distaccato e oggettivo e lo rappresenta su tela, applicando con rigore la prospettiva, il punto di fuga, la profondità, le luci e le ombre, come se la scena da dipingere fosse un palcoscenico da allestire. Gli *ukiyo-e* invece remano in direzione opposta, con disegni piatti e senza alcuna profondità o prospettiva. È così che il colore prende il sopravvento sulla forma e diventa il vero protagonista dell'opera. Fu proprio questa la caratteristica che saltò per prima all'occhio interessato degli impressionisti, oltre alla mancanza di punti di fuga all'interno delle stampe. Nonostante la loro asimmetria e la difficoltà, da parte di chi li osserva, di riuscire a individuare quale sia il centro del disegno, gli *ukiyo-e* erano dotati di un'armonia e di un equilibrio tutti loro. All'epoca i soggetti preferiti in Europa erano il divino e la spiritualità, accompagnati dalla costante ricerca della perfetta simmetria all'interno del quadro. Le chiese stesse venivano edificate seguendo questo principio. Come era quindi possibile che gli *ukiyo-e*, nonostante la loro più totale asimmetria, continuassero ad avere quel perfetto senso di equilibrio che tanto straniava gli occidentali?

Venne poi Van Gogh, che riprodusse due opere di Hiroshige: "Giardino dei susini a Kameido" e "Acquazzone improvviso sul ponte Shin Ohashi". Nel secondo non c'è nulla né di verticale, né di orizzontale, e i giochi di equilibrio e profondità si basano tutti sull'utilizzo delle diagonali. Le riproduzioni del pittore impressionista invece ricercano continuamente volume e profondità tramite l'utilizzo di chiaroscuri, come nel caso delle travi del ponte di "Acquazzone improvviso sul ponte Shin Ohashi", in cui a emergere è soprattutto la forma. Nella stampa di Hiroshige sono invece i colori che, seppur a tinte piatte, dominano la scena.

Un'altra cosa che stupì la corrente impressionista fu come si riuscisse a percepire la presenza dell'artista, il punto in cui si trovava e lo spazio che occupava all'interno dell'opera. In poche parole, non si ammirava più solamente il paesaggio raffigurato, ma si riusciva

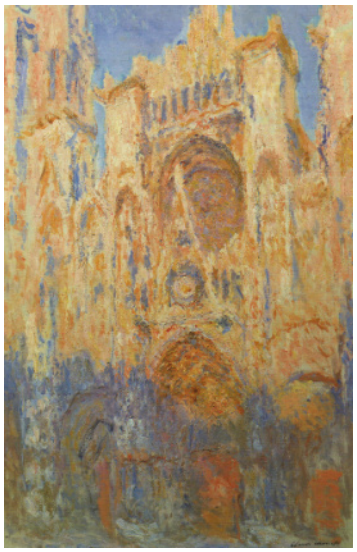
の富士が、日本人には見る場所と見る時間によって色んな風に見えるらしいと。モネはそこに大変な影響を受けて『ルーアン大聖堂』のシリーズを作りました。季節と時間を変えて同じカテドラルを同じ場所から見て、それぞれの光の変化を追いながら33点の作品を描いています。

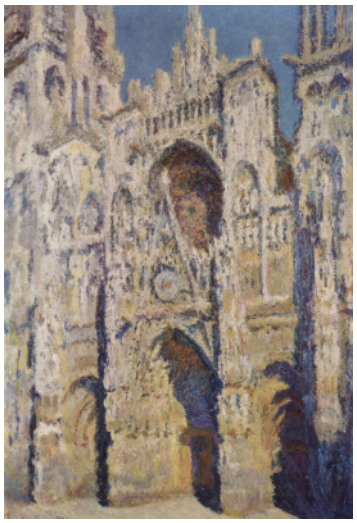
日本人からしたら富士山が色々な顔を見せるのは普通のことです。しかし、「画家と客体とは整理された中でのつきあい」という考えのもとに、人間と自然との間に距離を置くヨーロッパの芸術家にとっては、これは驚くべきことだったのです。

冒頭でお話ししたように、時代の変わり目にいた西洋の芸術家たちは、アカデミックな伝統が支配するパリに窮屈さを感じていました。たとえば印象派の画家たちの先輩に当たるクールベは『オルナンの埋葬』（1850）という作品で、自分の親戚が埋葬された時の様子を、葬式に立ち合った町じゅうの知り合いの姿を入れて大画面（315×668cm）に描きました。そして、英雄や宗教的シーンが描かれたかのような立派な仕上がりにしてサロンに出品したところ、「歴史画の偉大な伝統に乱入する作品」との批判を受けます。「女神を描くのがお望みならまずそれを連れてきてほしい」。このクールベ自身の警句で言い尽くされている様に、彼は見たことのないものを表現したくなかったのでしょう。

そのような時代背景の中で彼らが出会った浮世絵は、現実感や躍動感があるものでした。表立って主張を見せることなく、色もそんなに派手ではない。だけどさりげなく気が利いている。それはさぞかし、“粋”（いき）に感じられたことでしょうね。完

（上）葛飾北斎の『富嶽三十六景』より「凱風快晴」／In alto: Katsushika Hokusai, "Vento del Sud, cielo sereno", parte della serie “Trentasei vedute del Monte Fuji” , 1831～34
（中）「武州千住」／In centro: “Senju nella provincia di Musashi”
（下）「駿州江尻」／In basso:“Eijiri nella provincia di Suruga”





（上）クロード・モネ『ルーアン大聖堂』シリーズより「ファサード（日没）」／In alto: Claude Monet, “La Cattedrale di Rouen, al sole tramontante”, 1892, Museo Marmottan Monet, Parigi
（下）「扉口とサン＝ロマン塔、陽光」／In basso: “La Cattedrale di Rouen, portale e torre San Romano in pieno sole”, 1893, Museo d’Orsay, Parigi

anche a scorgere e a sentire la presenza dell’autore, come se si stesse guardando la scena attraverso i suoi occhi. Per gli artisti europei, che pongono una distanza netta tra pittore e oggetto della rappresentazione, questa strana unione era un qualcosa di particolarmente inusuale. Com’era possibile osservare e rappresentare la natura in questo modo?

Tutt’uno con il paesaggio

Negli *ukiyo-e* le persone ritratte nei momenti di quotidianità, come nel caso di chi corre sotto la pioggia, sembrano quasi dissolversi all’interno della scena per essere rappresentate nella loro più totale spontaneità. Nessuno è presente al centro, non ci sono figure sacre come Gesù o la Vergine Maria, e a nulla viene dato particolare risalto: è così che l’essere umano raffigurato negli *ukiyo-e* diventa un tutt’uno con la natura.

Gli occidentali furono poi particolarmente colpiti dalla serie “Trentasei vedute del Monte Fuji” di Hokusai, soprattutto tenendo conto dell’importanza e della sacralità che il protagonista di queste famose stampe rivestiva per il popolo giapponese. La serie raffigura il Fuji in luoghi e orari differenti, rappresentandolo ogni volta con un aspetto completamente diverso. Monet venne particolarmente influenzato da questo tipo di rappresentazione, che gli fornì l’ispirazione per dipingere la serie nota come “Cattedrale di Rouen”: con i suoi 33 quadri, raffigurò la cattedrale a orari e stagioni differenti, senza però cambiare mai punto di vista.

Per i giapponesi, è piuttosto comune assistere a come, in ogni momento della giornata, l’aspetto del monte Fuji cambi tingendosi di vari colori. A un occhio occidentale abituato ai dettami della pittura accademica e all’importanza della distanza tra l’artista e l'oggetto, però, rappresentare la natura nelle sue molteplici sfumature si rivela essere una cosa sorprendente.

Come detto all’inizio, agli artisti occidentali che vissero in quest’era di cambiamenti andava ormai fin troppo stretta la Parigi di quegli anni, che imponeva a tutti i costi i dettami della pittura d’Accademia.

粋（いき）って何だろう？

日本人の美意識には、平安時代の王朝文化の中で生まれた「みやび」（優美で上品、礼儀正しいこと）、平安文学の中で表された「もののあわれ」（しみじみとした趣があること）、日本文化の中心思想とも言われる「わび・さび」（質素で簡素な美しさ）などがある。そしてこの「粋」（いき）は、江戸時代に始まる理念である。

「心意気がいい」とはよく使われる言い回しだが、それは潔い気だてのことを言う。「粋」は「意気」を語源とする言葉であることから、やはり「気だてがさっぱりしている」ことを表すのだが、江戸時代の遊里で使われ始めた言葉だけあって、そこに「垢ぬけして色気がある」という意味が加わってくる。

「粋」とは、上述の日本人の持つ美意識の総合体なのかもしれない。さっぱりした気性の中に洗練された美しさと色気をさりげなく持った人を粋な人という。

Che cos'è l'*iki*, la raffinatezza giapponese?

Il senso estetico dei giapponesi può essere espresso con diversi termini: "*miyabi*" (il comportamento nobile e fine, cortese), che ha avuto origine nella cultura dinastica del periodo Heian (794-1185, n.d.r.); "*mono no aware*" (il senso nostalgico del divenire della natura, N.d.E.), espresso nella letteratura sempre del periodo Heian; e "*wabi sabi*" (la bellezza semplice e modesta), considerato anche idea centrale della cultura giapponese. A questi si aggiunge 粋 "*iki*" (la raffinatezza), un principio che ha avuto origine nel periodo Edo (1603-1868, n.d.r.).

A proposito, 心意気がいい "*kokoro-iki ga ii*" (lett. "avere una buona determinazione") è un'espressione che viene usata spesso per descrivere una persona con una buona disposizione d'animo. Dunque, partendo dal presupposto che 粋 "*iki*" derivi dalla parola 意気 ("*iki*" = vigore), contenuta nella sopracitata espressione, questo termine descrive una persona "chiara nei comportamenti". Trattandosi inoltre di una parola che si è inizialmente diffusa nei quartieri di piacere del periodo Edo , indica anche qualcosa in cui "è presente un fascino raffinato".

Nel concetto di *iki* si sintetizza probabilmente tutto il senso estetico dei giapponesi: si definisce una persona raffinata colui o colei che ha un carattere semplice, naturale e affascinante, con un senso estetico ricercato.

(traduzione in italiano: Rachele Perrone)

Un caso eclatante fu la reazione al quadro di Courbet del 1850, "Funerale a Ornans", un'opera che fu di ispirazione per molti impressionisti: il dipinto rappresentava, su una tela di dimensioni impressionanti (315×668cm), il momento della sepoltura di un parente di Courbet. La folla di paesani, riunitasi attorno alla fossa per presenziare alla cerimonia, era composta da persone conosciute dall'artista. Una volta terminato l'imponente quadro, che con le sue dimensioni sembrava volersi fare beffa delle rappresentazioni a tema eroico e religioso tanto apprezzate all'epoca, venne presentato al Salon, suscitando però numerose e aspre polemiche su come Courbet avesse spezzato inesorabilmente il rapporto con la grande tradizione artistica. Al di là delle critiche, l'intenzione del pittore era quella di fornire una rappresentazione vera della realtà, rifiutandosi di raffigurare scene e figure che, invece, ne erano assai lontane. Pensiero che espresse pronunciando queste parole: "non ho mai avuto modo di ammirare una Dea, ed è per questo che non ho alcun interesse nel ritrarla".

歌川広重の『名所江戸百景』より「浅草金龍山」／Utagawa Hiroshige, "Il tempio Kinryuzan ad Asakusa", parte della serie "Cento vedute famose di Edo", 1856

Tornando al Giappone, gli *ukiyo-e*, che gli artisti della corrente impressionista avevano potuto ammirare, trasmettevano un forte senso di vitalità e realtà. Non volevano essere l'ostentata dichiarazione di un pensiero, e l'utilizzo del colore non era mai eccessivo. È anche per questo che gli *ukiyo-e* trasmettono un senso di raffinatezza ("*iki*", raffinatezza) che lascia incantati chi li osserva.

Servizio di Junko Kataoka (traduzione in italiano: Camilla Troisi)

着物を着るならシャキッとね!

着物の世界ってとても奥が深いんです。今回は着物アーティスト 帆足とも子さんに着物について伺ってみましょう。

着物って？

読んで字の如しで、いわゆる着るものです。大昔は上からスポッと布をかぶって紐で結んだら、それが着るものだったわけですよね。これが奈良時代（710〜784年）には、「筒袖」という袖を持った形になっていきます。まだ袂（たもと）がありません。そして平安時代になると、貴族が長い袂の着物をたくさん重ねて着るようになります。今の私たちが思い描く着物は、戦乱の世で動きやすさが求められた室町時代以降の「小袖」（袂はあるが袖口が小さい着物）です。

色を重ねる

平安貴族の着物といえば、何枚も重ねて着る「十二単」（じゅうにひとえ）ですよね。重ね着して寒さをしのぐ必要はあったのでしょうが、それよりも、色を重ねて自然の移ろいの鮮やかさと豊かさを表すことに意味があったのです。春なら紅梅色と桜色と若葉色の組み合わせ、夏なら菖蒲（あやめ）と撫子（なでしこ）、秋は竜胆（りんどう）に紅葉（もみじ）、冬は枯色（かれいろ）に氷色‥。国風文化が花開いた時代で、どの色も風雅な自然の名前です。ちなみに、贅沢ができない江戸時代の庶民が生み出した「四十八茶百鼠」（しじゅうはっちゃひゃくねずみ）も日本の伝統色です。茶系48色、灰色系100色の渋い色の美しいバリエーションです。

着物の種類と格

着物はまず「染め」と「織り」に大別することができます。絹で織られた白生地に模様を直接描いて作るのが「染めの着物」。染めた絹糸で織りあげた生地で制作した着物を「織りの着物」と言います。

着物を仕立てるための反物（たんもの）というのは大人の一着分の生地を巻いたもので、現在は幅37〜38センチ、長さ約14メートルです。平均身長が伸びたので昔より長くなりました。これを長方形の八つのパーツに切り分けて着物の形に組み立てていくのです。染めの着物の場合、白生地を仮仕立てしていったん

①奈良県明日香村の高松塚古墳（694〜710年築造）の絵に既に筒袖が見られる。／Il tsutsusode è già rappresentato nei dipinti del kofun (antico tumulo funerario, n.d.t.) di Takamatsuzuka, costruito tra il 694 e il 710 d.C., sito nel villaggio di Asuka nella prefettura di Nara.
②12世紀の『源氏物語絵巻』の中に見られる平安貴族の着物／Kimono dell'aristocrazia Heian raffigurato nel "Genji Monogatari Emaki" (Rotolo dipinto del celebre romanzo "Genji Monogatari" lett. "La storia di Genji" n.d.t.) del XII secolo（Tokugawa Museum, Nagoya）
③小袖を着た女性。菱川師宣の『見返り美人』（17世紀、東京国立博物館蔵）／Una donna che indossa un kosode. "Mikaeri Bijin"(in italiano "La beltà si volta indietro" n.d.t.) di Hishikawa Moronobu (XVII secolo, collezione del Museo Nazionale di Tokyo). Una donna che indossa un kosode. "Mikaeri Bijin" (in italiano "La beltà si volta indietro", n.d.t.) di Hishikawa Moronobu (XVII secolo, collezione del Museo Nazionale di Tokyo).

Quando indossate il kimono abbiate un portamento elegante e raffinato!

In questo numero ci addentreremo nel mondo del kimono, un'arte con radici molto profonde, con la kimono artist Tomoko Hoashi.

Cos'è un kimono?

La parola kimono significa letteralmente "cosa da indossare". Anticamente, infatti, per vestirsi ci si infilava un capo in tessuto che veniva poi fermato con una corda. Nel periodo Nara (710-784 d.C.) questo abito assunse una forma "a T" con l'aggiunta di maniche strette chiamate *tsutsusode* che, a differenza di quelle attuali, non avevano ancora il *tamoto* (il classico drappeggio della manica del kimono che conosciamo oggi, n.d.t.).
Successivamente, in epoca Heian (794-1185, n.d.t.) l'aristocrazia iniziò a indossare strati sovrapposti di numerosi kimono con lunghe maniche dotate di *tamoto*.
Il kimono odierno a cui siamo soliti pensare, il *kosode* (cioè quello con il *tamoto* ma con l'apertura della manica, *sodeguchi*, più piccola) è nato invece nel periodo Muromachi (1333-1573, n.d.t.), un'epoca caratterizzata da guerre in cui era necessario indossare abiti che permettessero di muoversi facilmente.

Sovrapporre i colori

Il kimono dell'aristocrazia Heian era il *jūnihitoe* (lett. "12 strati"), indossato sovrapponendo molti strati di vestito. Il motivo di questi strati era probabilmente connesso alla necessità di proteggersi dal freddo, ma la ragione principale era un'altra: le combinazioni di colori sovrapposti esprimevano la vividezza e la ricchezza di quelli della natura e del passare delle stagioni. In primavera si abbinavano il rosso dei fiori di pruno, il rosa delicato dei fiori di ciliegio e il verde delle foglie appena spuntate; in estate il viola rosato dell'iris e il rosa del *nadeshiko* (garofano giapponese); in autunno il blu violaceo della genziana e il rosso dei *momiji* (aceri rossi); in inverno il marrone caramello delle foglie secche e il color ghiaccio... In un'epoca in cui fioriva la cultura, ogni colore prendeva il nome da elementi naturali raffinati ed eleganti. A questo proposito, anche lo *shijūhaccha hyaku-nezumi* (lett. "48 color tè e 100 color topo"), creato dalla popolazione comune del periodo Edo (1603-1868, n.d.t.) che non poteva permettersi di indugiare nel lusso, fa parte dei colori tradizionali giapponesi e comprende l'insieme sobrio ed elegante di 48 sfumature di marrone e 100 di grigio.

Tipologie e rango di kimono

Per prima cosa, possiamo dividere i kimono in due macrocategorie: i kimono *some* (da tintura) e i kimono *ori* (da tessitura). I kimono *some* sono realizzati dipingendo il motivo direttamente su un tessuto bianco di seta. I kimono *ori*, invece, sono realizzati tessendo fili di seta tinti precedentemente.
Il tessuto usato per realizzare un kimono per adulto è chiamato *tanmono* (rotolo di tessuto tradizionale giapponese per kimono, n.d.t.) e attualmente è largo 37-38 cm e lungo circa 14 metri (la lunghezza del *tanmoto* è maggiore rispetto al passato a causa dell'aumento dell'altezza media della popolazione). Questo tessuto

着物の形にし、絵羽（えば=一枚の絵のように切れ目なく繋がっている大柄の模様）を描いた後でまた反物に戻すので、大変手間がかかります。

そして、最も格の高い着物は「留袖」です。未婚女性の場合は「振袖」になりますね。留袖は「（振袖に対して）短くして留めた袖」という意味で、絵羽が帯より下の部分に入っています。黒地のみの黒留と、地色が黒以外の色留がありますが、黒留が最も品格が高い第一礼装とされています。

花嫁衣装の着付け実演。帆足さんの着物は黒留袖／Dimostrazione della vestizione del kimono da sposa. La maestra Hoashi indossa un kuro-tomesode.

準礼装は、絵羽が胸元から裾まで全体に入っている「訪問着」と、絵羽が無い（つまり絵が繋がっていない）「付け下げ」です。全体に細かい模様が入った「小紋」はカジュアルの扱いになり、仲のいいお友達とのお出かけに適しています。このように着物をTPOに合わせて着分けることがマナーです。

同じ様に帯にも格があります。そして帯は結ぶときにどこに柄をもっていくかがキメ。日本人的には真ん中からちょっとズラすのが粋（いき）かしら？

私は今ミラノに住んでいますが、お茶会やコンサートや個展、お友達とのお食事に出かけるときはいつも着物。私が着物で出ていくと、近所のイタリア人が「今日は何があるの？」と声をかけてくださるんです。そんなとき「あ、見られてるな」と思うと、日本人という意識がむくむくと出て来て、気が引き締まります。

いろいろ申しましたが、本当は格式よりも何よりも「着物をまとう」ことを楽しむのが一番。ただし、着物を着るならシャキッとね。凛とした日本女性でいたいですものね。完

ほあしともこ
福岡県生まれ、ミラノ在住。海外生活が長くなるにつれて着物に傾倒。日伊各地を飛び回って仕事するかたわら、着付け・帯結び・日本髪結い指導のワークショップや実演の依頼を数多く請け負い、ミラノの着付け師としても活躍中。

Tomoko Hoashi
Nata nella prefettura di Fukuoka, ora vive a Milano. La sua devozione per il kimono è aumentata con l'allungarsi del tempo trascorso all'estero. Lavorando tra il Giappone e l'Italia, ha accolto molte richieste di workshop e dimostrazioni di vestizione del kimono, di annodatura dell'*obi* e di acconciature giapponesi; è inoltre attiva come vestitrice di kimono a Milano.

tomokoh2409@hotmail.co.jp

viene poi tagliato in otto parti rettangolari e assemblato a forma di kimono.
Nel caso di un kimono *some*, il tessuto bianco viene temporaneamente disposto a forma di kimono per dipingere l'*eba*, cioè un motivo decorativo di grandi dimensioni perfettamente connesso come se fosse un'unica immagine. Dopo aver finito di dipingere l'*eba*, il tutto viene riportato alla forma iniziale di *tanmono*: la realizzazione di un kimono *some* richiede quindi molto tempo e lavoro.

Il kimono di rango più elevato è il *tomesode* (kimono formale per donne sposate, n.d.t.). La versione corrispondente per le donne non sposate è il *furisode* (kimono formale con maniche lunghe circa 1 metro, n.d.t.).
Il *tomesode*, il cui nome significa "maniche accorciate (rispetto al *furisode*)", ha l'*eba*, il motivo decorativo, dipinto nella parte inferiore, sotto l'*obi* (la cintura del kimono, n.d.t.). I kimono *tomesode* si dividono in due tipi, a seconda del colore del tessuto: *kuro-tomesode* se il colore di base è il nero, *iro-tomesode* se invece è di un colore diverso dal nero. Il kimono formale più pregiato è il *kuro-tomesode*.
Ci sono poi due tipi di kimono semi-formali: lo *hōmongi*, con i motivi dell'*eba* che coprono l'intera area che

振袖の着付け実演。帆足さんの着物は訪問着（上）と付け下げ（下）／Dimostrazione della vestizione del furisode. La maestra Hoashi indossa un hōmongi (in alto) e uno tsukesage (in basso).

「枝垂れ桜」（しだれざくら）という帯結び／Il modo in cui è legato l'obi si chiama "Shidare zakura", l'albero di ciliegio dal portamento pendulo.

ザ・和食

だしの話②うま味（前号より続く）

東京帝国大学（現在の東京大学）の池田菊苗（きくなえ）博士は、日本では古くから料理に昆布だしが使われてきたことに注目し、昆布だしの味の正体を明らかにするために研究を始めました。そして1908年、昆布だしの主成分がグルタミン酸であることをつきとめ、グルタミン酸によるその味を「うま味」と名づけました。

続いて1913年、かつお節の持つ「うま味」はイノシン酸に起因することが解明され、更にずっと後になって1957年、ヤマサ醤油の研究によって干し椎茸に含まれるグアニル酸も「うま味」物質を含んでいることがわかりました。うま味とは、食材の持ち味を引き立てて料理の味に深みを加え、「おいしさ」を支える大切な基本味です。日本人は深みのある味に執着する民族なのかもしれませんね。

一連のうま味研究の結果が国際的な場で取り上げられるようになるのは、池田博士の「うま味」命名から80年も後のことでした。1985年、第1回うま味国際シンポジウムが行われ、それ以降「UMAMI」という用語が国際的に使用されることになります。

UMAMIは日本で発見された基本味ですが、実は世界各地で様々なかたちで使われてきています。アジアでは椎茸・昆布・魚介類の乾物のUMAMIや、豆・穀類・魚介類を原料とする発酵食品のUMAMIが主流。一方ヨーロッパでは、同じ発酵食品でも生乳や肉を原料としたチーズや生ハムのUMAMI。そしてトマトのUMAMIは様々な形で料理に使われています。

次回はいよいよ、日本のうま味の基本である「だし」の種類や使い方についてお話ししていきます。

vera cucina giapponese
AIRG
Associazione Italiana Ristoratori Giapponesi
Dal 2003 simbolo della VERA CUCINA GIAPPONESE
www.ristoratorigiapponesi.it
www.poporoyamilano.com
www.ristoranteshiropoporoya.it
www.milanoosaka.com
www.fingersrestaurants.com
www.zero-milano.it
ポポロ屋
SHIRO POPOROYA
OSAKA 大阪
FINGER'S GARDEN
FINGER'S
zero

Il dashi ② *Umami* (continua dal numero precedente)

Kikunae Ikeda, professore di chimica dell'Università Imperiale di Tokyo (oggi Università di Tokyo), osservando come il brodo *dashi* a base di alga *kombu* fosse usato nella cucina giapponese sin dall'antichità, svolse delle ricerche per svelare l'essenza del suo sapore. Così, nel 1908 scoprì che il componente principale del *dashi* di *kombu* è l'acido glutammico e diede il nome di *umami* (lett. saporito) al sapore dato da questo amminoacido.

Successivamente, nel 1913 fu scoperto che l'*umami* del *katsuobushi* (tonno essiccato) è originato dall'acido inosinico, mentre molto più tardi, nel 1957, uno studio dell'azienda produttrice di salsa di soia Yamasa rivelò che anche l'acido guanilico contenuto nei funghi *shiitake* essiccati è un componente dell'*umami*.

L'*umami* è un sapore fondamentale che amplifica la bontà e la gustosità delle pietanze, esaltando il gusto degli ingredienti e aggiungendo corposità ai piatti. I giapponesi sono infatti un popolo che dà molta importanza alla profondità dei sapori.

Fu solo dopo 80 anni dalla scoperta del Dott. Ikeda che i risultati della serie di studi sull'*umami* vennero ripresi in sede internazionale: nel 1985 si tenne il primo simposio internazionale sull'*umami*, che sancì l'inizio dell'utilizzo del termine anche al di fuori del Giappone.

Infatti, anche se l'*umami* è stato scoperto in Giappone, questo sapore fondamentale viene utilizzato in tutto il mondo in molteplici forme. In Asia sono diffusi principalmente due tipi di *umami*: quello di alimenti essiccati come funghi *shiitake*, alga *kombu*, pesce e crostacei disidratati, e quello di alimenti fermentati a base di fagioli di soia, cereali e prodotti ittici. In Europa, invece, i principali alimenti fermentati che contengono *umami* sono derivati di latte e carne, come formaggi e prosciutto crudo. Infine, anche l'*umami* del pomodoro è usato in cucina in svariati modi.

Nel prossimo numero parleremo finalmente dei tipi e dell'utilizzo del *dashi*, la base dell'*umami* giapponese.

日本食協会理事 Kyoko Higuma
(traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio)

va dal petto al bordo inferiore, e il *tsukesage*, che non possiede l'*eba* (cioè i disegni del decoro non sono collegati). Infine, il tipo di kimono più informale è il *komon*, caratterizzato da un pattern che copre tutta la sua superficie: questo kimono è adatto alle occasioni più casual come un'uscita con gli amici.

In questo modo, l'etichetta giapponese prescrive di indossare un tipo di kimono diverso a seconda del luogo, dell'occasione e del grado di formalità richiesto.

Analogamente, ci sono diversi ranghi e livelli di formalità anche per quanto riguarda l'*obi*. In questo caso, la "chiave" è il punto in cui si porta il motivo decorativo quando lo si lega. Penso che per i giapponesi sia considerato raffinato portarlo al centro e poi spostarlo leggermente di lato.

Io ora vivo a Milano, ma quando esco per un tè, per un concerto, per una mostra personale o anche per un pranzo con le amiche indosso sempre il kimono. Quando esco in kimono, i miei vicini italiani mi chiedono sempre: "C'è qualche occasione particolare oggi?". In quei momenti, capendo di essere osservata, emerge la coscienza di essere giapponese e mi impettisco.

Ho parlato a lungo di livelli di formalità ed etichetta, ma alla fine penso che, più che il formalismo, la cosa più importante sia godersi il fatto di "indossare il kimono". Però, ricordate: quando si indossa il kimono, bisogna avere un portamento elegante! Perché vogliamo essere donne giapponesi raffinate, giusto?

servizio di Junko Kataoka
(traduzione in italiano: Emanuela L. Arancio)

Dunque parliamo

ロシアが攻撃開始して48日目の夜

3月初旬、僕は、ウクライナ戦争反対の市内デモにエマヌエレと共に参加した。そのときエマヌエレは、「ウクライナ領事館宛に、客間はないがリビングのソファーベッドに1人受け入れられる旨を伝えたところ、諸々を記す用紙が返送されてきた」と言っていた。

国連の発表では4月初旬、既に450万人のウクライナ人が国を後にしたという。そして、ポーランドやハンガリーなど国境を接する近隣国を除いては、西ヨーロッパ諸国のなかでイタリアの受け入れ数は最多だ。もともとイタリアで生活しているウクライナ人（多くは家政婦や建設業従事者の出稼ぎ）が多く、そういった家族や知人を頼って来ているようだ。イタリアから車を出して出国を助けるボランティア活動もニュースになった。特に子供の学校への受け入れは迅速に行われ、ウクライナ語のアニメがイタリア国営放送で流れたりもしている。

戦争開始48日目の4月12日、エマヌエレに夕食に呼ばれ、3日前から滞在しているというアレックスを紹介された。ウクライナ中西部のヴィーンヌィツャ出身、独身42歳、建設業従事者。片足が無いのは事故によるものか？タバコとビールが好きな田舎のあんちゃんだ。72歳の母親、46歳の姉とその子供2人が地元に残っているという。ヴィーンヌィツャはロシア侵攻の直接の対象にはなっていない。

故郷には川が多く、アレックスの一番の趣味は釣り。携帯電話に入れている立派なカワマスの写真を自慢げに見せてくれた。きのこや野イチゴ狩りも好きだ。彼の町から287キロの距離のチェルノブイリ原発事故は、彼が6歳の時の強烈な記憶だ。今回、ミラノまで列車を乗り継いで来た。最初に収容された施設では心無い扱いを受けたようだ。幾何学模様いりのグレーのウールのセーターとスウェットのパンツ姿で、片方の足は膝上で折り上げられている。汗の受け皿として生理用品を、切断された足の部分にあてがう。それを知ったエマヌエレのアパートの大家は、早速ごっそり買って差し入れてくれた。エマヌエレの隣人は、警察での身元保証確認のため彼らを車で運んでくれた。

アレックスは食事がすむや否や、自分の携帯に「知り合いになれてうれしい。ありがとう」と音声入力し、そのイタリア語訳を僕に見せ、そして暗いテラスに煙草を吸いに出ていった。ビール酔いした赤らんだ顔とうつろな瞳、知り合いもなく、言葉が通じないこの町で彼は何を思うのだろう。僕は、財布にあったお札を煙草代としてエマヌエレに渡した。

「戦争が終結し帰国できるまでの滞在」という受け入れ条件で、エマヌエレはアレックスを迎えた。まだ数日しか経っていないが一度も家から出ず、ただ、「仕事がしたい」「釣りができる川はないか？」などと聞いてくるという。彼にとってデザイン、ファッション、ビジネスの街ミラノはたまたま逃れた先であるだけ。ウクライナの広大な国土、豊かな水と自然に恵まれた環境の中で、ソビエト連邦崩壊後（彼が11歳だった1991年12月）もさほど大きな変化もなく生活してきたようだ。首都キーウ（キエフ）の政府がEUやNATOへの加盟を訴える姿とは裏腹に、そして言論の自由や個人の尊厳といった西洋の基本理念など無頓着に、アレックスは日々の生活を送ってこられたのであろう。そんな彼が今置かれている状況に複雑な思いと、悲しみがこみあげる。

トリエステ出身の作家パオロ・ルミツ。父親が第二次世界大戦でオーストリア兵としてロシアと闘い、戦死している。その著書『トランス・ヨーロッパ・エキスプレス』の中で彼は、ウクライナのフメリニツキーの駅で出会った医学生が語った言葉を、次のように記している。

「あなたがた西洋人は何もわかっていない。ここでは誰もが、カフカス（ロシア兵のこと）が戻ってきて踊り出すのを知っている。プーチンは支配下に置こうとし、アメリカは軍の基地を置きたがっている。そしてカスピ海には石油がある。これで十分じゃないか。僕たちは緊張を十分すぎるほど感じている。東と西の真の境界がここにある。ウクライナが何世紀にもわたって緩衝国だった役割を放棄し、西側に加盟しようものなら、大変なことになるだろう。親ロシア派勢力が強い東部と、西部が分断すれば、モスクワの介入は避けられない」。『トランス・ヨーロッパ・エキスプレス』は2008年の著書である。

Itaru Ito

© Lencer／Creative Commons（https://commons.wikimedia.org/wiki/File:Map_of_Ukraine_with_Cities.png）

Made in Japan ってどうよ!

漫画の源流を辿る

（その3）「漫画」という言葉と、日本漫画の土台

みなさんこんにちは。前回は「ポンチ絵」が日本で最初の漫画だという話をしました（と言いましても2020年7-8月号ですから2年も前のことです。月日の経つのは早いものでございますね）。ところで、我々は長いこと漫画漫画と言っておりますが、この「漫画」という言葉はどこから生まれてきたのでしょうか？

「漫画」は、今泉一瓢（-いっぴょう 1865〜1904年）という浮世絵師によって作られた言葉です。ただしこの時点では風刺画を指す言葉でした。と言いますのも、今泉は「漫画」という言葉を「cartoon」（カートゥーン=風刺的なイラスト）の訳語として使っていたからです。

今泉の後を北澤楽天（1876〜1955年）が継ぎます。彼が「漫画」という言葉を「comic」（コミック=笑いを企図した絵の意味）の訳語として使ったことから、今の漫画のイメージにぐっと近づきます。「漫画」という言葉を最初に使った今泉ではなく、北澤が日本漫画の祖であり、更には日本初の職業漫画家と言われる理由は、ここにあるのでしょう。

北澤楽天も序盤は今泉のように風刺一コマ漫画を描いていましたが、1902年には既に『田吾作と杢兵衛（もくべえ）の東京見物』という、コマ割りを使った漫画を描いています。この作品では台本のように台詞が書き込まれ、まだ吹き出しはありませんでした。彼の作品が後世に与えた影響は大きく、手塚治虫も幼少期に読んだ北澤楽天の作品を「影響を受けた作品の一つ」として挙げています。

北澤楽天の『田吾作と杢兵衛の東京見物』（1902年）／"Tagosaku to Mokube no Tōkyō Kenbutsu"（Rakuten Kitazawa, 1902）

ようやく「漫画」の土台が日本にできました。1923年に連載が開始された新聞四コマ漫画『正チヤン（しょうちゃん）の冒険』は、大正時代（1912〜1926年）を代表する作品で、特筆すべきは初めて「吹き出し」を使ったものであること、そしてターゲットが今までと違って子供であったことでした。その人気は凄まじく、例えば大きなボンボンがついた毛糸の帽子は「正チヤン帽」と呼ばれて、子供たちの間で大流行しました。読者コーナーでは、読者である子供の質問に正チヤン自らが答えるということも行われ、それは100年近く経った今もなお受け継がれている手法であるといえます。

（次回に続きます）

L'origine dei manga (parte 3)

La parola "manga" e le fondamenta del fumetto giapponese!

Ciao a tutti, cari lettori! Nella scorsa puntata della nostra rubrica abbiamo parlato dei "*ponchi-e*", ovvero i primi fumetti giapponesi (detto così sembra ieri, ma in realtà l'articolo risale al numero di luglio-agosto 2020! Ben due anni fa. Come passa in fretta il tempo!) A furia di parlare di manga, però, vi siete mai chiesti come sia nata questa parola?

Il termine "Manga" venne coniato dall'artista di *ukiyo-e* Imaizumi Ippyou (1865-1904) per indicare, in realtà, delle caricature. Questo perché Imaizumi utilizzava la parola come traduzione di "cartoon" (termine introdotto in Inghilterra per indicare disegni caricaturali e umoristici, n.d.r.).

Ad adottare il vocabolo fu anche Kitazawa Rakuten (1876-1955), che lo utilizzò invece come equivalente di "comic", riflettendo un'immagine più divertente e spiritosa e che più si avvicinava a quella del fumetto giapponese moderno. Ecco perché non è Imaizumi a essere considerato il padre del manga, ma Kitazawa: il primo vero e proprio *mangaka* di professione in Giappone. Agli inizi, anche Kitazawa Rakuten, come Imaizumi, si occupava di illustrazioni satiriche composte da un'unica vignetta, le *fūshi hito-koma* (lett."singola vignetta satirica", n.d.t.). Questo finché nel 1902 non pubblicò "Tagosaku to Mokube no Tōkyō Kenbutsu" ("Il viaggio a Tokyo di Tagosaku e Mokube", n.d.t.), il primo manga suddiviso in più vignette. Un'opera, la sua, che riportava i dialoghi senza che ci fossero segni grafici a contenerli, come invece accade oggi con i balloon.

L'impatto che il manga ebbe sulle successive generazioni di disegnatori fu enorme, tanto che persino Tezuka Osamu, che aveva letto il fumetto di Kitazawa Rakuten da piccolo, lo citò tra le opere che lo avevano profondamente

正チヤン誕生80周年記念として、小学館が2003年に発行した『正チヤンの冒険』復刻版／Ristampa della casa editrice Shōgakukan del 2003 de "Le avventure di Shō chan" per celebrare l'80° anniversario dalla nascita della serie.

Ciao Journal in piazza

こちらは読者の掲示板です／Questo spazio è dedicato agli annunci dei lettori:

STUDIO LINGUISTICO SOE di Masatake Soejima
www.studiolinguisticosoe.it
裁判所宣誓翻訳サービス（伊英・伊日）も承っております。イタリアの高校から外国の大学へ進学する際、イタリア語の卒業証書や成績表等の宣誓翻訳証明書が必要になります。

韓国・日本食品店Gagheでは、**10%割引クーポン**をご用意しています。p.5の広告をご覧ください。
Potete trovare il **buono sconto 10%** di GAGHE, il negozio di alimentari coreani e giapponesi, a pagina 5.

ミラノの**ブレラ歯科**はコロナウィルス簡易検査キット常備の指定医院です。感染予防策を徹底していますので安心してご来院下さい。Ciao!誌持参の方は初回診察無料。日本語専用電話（340-2497054）でご予約を。詳細はp.5の広告にて。

Arriva in libreria e on-line Chikamichi: il primo manuale di giapponese pensato per gli italiani. È semplice e innovativo con curiosità, esercizi e spiegazioni dettagliate da zero all'N5!

TOZAI 東西 GIAPPONE A 360 GRADI
日本のことはなんでも
IL GIAPPONE A CASA TUA
attraverso uno dei nostri corsi e servizi
lingua, manga e personal chef
日本語教師募集
イタリアの皆さんに日本語を教えていただける先生を募集しています。どうぞお気軽にお尋ねください。
347.40.80.010
TOZAI.IT
375 619 1324

子ども向けの歌・ピアノレッスン生徒募集中
童謡、合唱曲、ジブリ、ディズニー曲など一緒に楽しく歌いましょう！ピアノレッスンもご自宅/ミラノ市内スタジオ/オンラインにて。無料体験レッスン受付中。Tel:3518038829
yumishimizu.information@gmail.com

ボローニャの最新設備を備えた歯科医院にて、日本語でのアシストを受けながらの治療が可能です。詳しくはメールにてご相談を。
tobanobu2000@yahoo.co.jp (担当 鳥羽)

全国**すし**商生活衛生同業組合
連合会加盟店
Membro della Federazione Nazionale delle Associazioni per l'Igiene del Settore Sushi

Ayako Nakamiya（Mostra Collettiva）
"Sono la luce che vedo" presso Barchessa Villa XXV aprile in via L.Mariutto, Mirano Venezia. Dal 20 maggio al 3 giugno 2022. Inaugurazione il 20 maggio dalle ore 18:00

ミラノ在住の皆様。**症状に合った専門歯科医をご紹介**/サポート、医療、他諸手続き通訳やお手伝い致します。お気軽にお問い合わせ下さい。鈴木幸子
sachikos0206@gmail.com

在宅事務アルバイト募集。
エクセルを使った入力作業等。
月に2度程ミラノにて打ち合わせ可能な方。
segretaria@groupmy.eu　366 600 4394

第二回マリアノ音楽の町国際声楽コンクール
応募要項www.maglianotiamo.it
電話番号(+39)3498705440
maglianotiamo@libero.it

1コマ20ユーロ（20字×4行、英数半角は2文字で1字）／una casella: 20euro（40battute per 4righe）

NEW!! CiaoのFacebookやインスタ上での告知／Annunci su Facebook e Instagram di Ciao: Ciao告知として2回掲載。20ユーロ（100字、写真、英数半角は2文字で1字）／L'annuncio verrà pubblicato 2 volte sui social di Ciao: 20euro (200 battute, foto)

詳細とお申込みはciao@ciaojournal.com迄／Per info scrivere a **ciao@ciaojournal.com**

レストラン大阪は20年以上続く日本人経営の本格的な和食レストランです。今回は**技術を持った寿司職人を募集**します。ミラノの本格的和食レストランであなたの腕を試してみませんか？ご興味のある方はお気軽にお問い合わせ下さいませ。
ristoranteosaka.milano@gmail.com

Mostra d'arte "**Kimono d'oro dell'Imperatore**" presso la Galleria Asian Art di Renzo Freschi in Via Gesù 17, Milano. Dal 25 maggio al 15 giugno 2022. La mostra sarà inaugurata dall'artista Teresa Maresca il mercoledì 25 maggio dalle ore 17.

ミラノ補習授業校では児童生徒、および教員登録をしていただける方を随時募集しております。詳しい内容についてはミラノ補習授業校ホームページをご参照ください。
http://www.kitaitalia-nihonjinkai.it/hoshuko/
お問合わせは以下ミラノ補習授業校事務局迄。
milanohoshuko10@gmail.com

CIAO! Journal年間定期購読／ CIAO! Journal Abbonamento annuale

●印刷版…21ユーロ（イタリアのご住所のみ）
の「お振り込みデータ」「ご氏名」「ご住所」をciao@ciaojournal.comまでお送り下さい。
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

※PayPalでお支払いの方はwww.ciaojournal.com→「定期購読」をご覧ください。

●Abbonamento annuale CIAO! Journal in versione cartacea…21 euro
（l'abbonamento è rivolto esclusivamente ai residenti in Italia）
Dopo aver fatto il bonifico, invia la ricevuta del pagamento all'indirizzo ciao@ciaojournal.com con il nome e l'indirizzo su cui desideri ricevere Ciao!Journal.
- Fai il bonifico al seguente IBAN:
Geienneffe Editore S.a.s.
IBAN: IT13M0623001602000057063791

●WEB版…無料。ご希望の方はciao@ciaojournal.comまでお申し込みください。また、お友達にご自由に転送なさってください。
●Versione Web di CIAO! Journal…GRATIS. Se desideri ricevere la versione Web della rivista, scrivi all'indirizzo ciao@ciaojournal.com indicando: nome, cognome e l'indirizzo mail su cui vuoi ricevere la rivista. Ciao! Journal può essere condiviso liberamente con tutti!

influenzato.
Ecco quindi come si sono consolidate le fondamenta del manga in Giappone! Qualche anno più tardi, nel 1923, si diede invece inizio alla serializzazione su giornale in formato *yon-koma* (lett. “4 vignette”, un tipo di striscia a 4 vignette, n.d.r.) del fumetto “Le avventure di Shō-chan”: fu proprio all’interno di quest’opera, un capolavoro che ben rappresentava l’era Taishō (1912-1926), che vennero introdotti per la prima volta i balloon! Non solo, anche il target verso cui si rivolgevano i manga cambiò, focalizzandosi per lo più sui bambini, anziché sugli adulti. La popolarità del fumetto fu eccezionale, e persino il berretto di lana del protagonista, con il suo caratteristico pompon, riscosse un enorme successo tra i più piccini. Era stato addirittura creato all’interno del giornale un angolo dedicato, dove Shō-chan rispondeva alle domande dei piccoli lettori. Una tecnica, questa, che ancora oggi, dopo quasi cento anni, continua a rimanere un caposaldo dell’editoria giapponese (continua nella prossima puntata!).

Toshiyasu Hiramatsu
(traduzione in italiano: Camilla Troisi)

ISTITUTO italiano DI CULTURA TOKYO